



ヌマタ

2006 /
4

品質方針

「優良工事を工期内に」のもと、地域社会に密着し顧客の信頼を満たすため継続的な改善を図り品質を保証します。

沼田土建株式会社 〒378-0042 群馬県沼田市西倉内町593 支店：東京 営業所：前橋
☎0278(22)5175 FAX 0278(22)5177 URL <http://www.ndk-g.co.jp/>
企画・編集：社内報編集委員会 責任編集：総務部・田村義巳 印刷：利根印刷所

2001年3月1日
沼田土建株式会社
取締役社長 青柳剛

最盛期の現場から

「老神観光ホテル 観山荘 第一期改修工事」



- § 安全に対してどのような点に気を使っていますか？
営業中での5階及び屋上の改修工事のため、朝晩はお客様の出入りが重なりますので、安全確保に十分に注意をしています。
- § 工事の進捗状況はいかがですか？
連休前の完成を目指して工程表通り進行しています。
- § 工程を組むのに一番気を使ったことはどんなことですか？
設備工事が4階の客室天井内の配管と重なりますので、週間工程の見直しをしました。
- § 作業のみなさんとのコミュニケーションはどんなことで・・・
巡回・休憩時間を利用して出来るだけ多くの作業員とのコミュニケーションを取るようになっています。
- § 現場に携わる協力会社の人々に対して・・・
これから仕上げ工事になりますが、無事故で工事が竣工できるよう健康に注意してお願いします。

今回は有限会社老神観光ホテル観山荘発注の「老神観光ホテル観山荘第一期改修工事」(群馬県沼田市利根町老神)の現場からレポートいたしました。現場担当は建築部の木内次長です。

3月総括安全衛生協議会

平成18年3月4日開催

今月の目標 不安全行動をなくし災害ゼロ

衛生管理	寒暖の差に注意し健康管理
防火管理	暖房器具の消火確認
安全運転管理	各部の点検・燃料確認

安全衛生協議会 社長挨拶

3月になり年度末の安全衛生協議会です。年度末は公共工事をはじめ多くの工事が完工時期を迎え、工事が輻輳し、労働災害が多発する傾向にありますので、労働災害防止対策の一層の強化と徹底をお願いします。また、今月は「建設業年度末労働災害防止強調月間」が労働災害防止の徹底を図るために展開されており、その重点事項を紹介します。

1. 特別安全衛生パトロールの実施
2. 三大災害(墜落・転落災害、建設機械・クレーン等災害、倒壊・崩壊災害)防止対策の徹底
3. 交通労働災害防止対策の徹底
4. 不安全行動による災害防止の徹底
5. 石綿障害予防対策の徹底

安全衛生協議会 会長挨拶

今日は先月行われた首都高速道路(株)の安全衛生協議会で発表された災害事例を紹介します。

災害事例

1. 事故の内容

工事現場に酸素ビンを搬入してきた3トントラックが、工事車両出入口から左折で作業帯内に入場した後、酸素ビンの荷降ろし箇所への車両方向転換するため、車両をバックさせた時、荷台の右後方が反対の車道に約1m出たため、一般通行車両(軽自動車)が衝突し破損した。

2. 事故発生後の応急措置

事故発生後、3トントラックおよび一般車両を作業帯内に移動させ、警察の事故検証を受けるとともに、一般車両の運転手が胸の痛みを訴えたため、救急車で病院へ搬送され、診察を受けた。(診察結果：異常なし)

3. 原因

誘導の不徹底

- ・場内移動場所の指示の不明確
 - ・スポット入場者に対する誘導の不適切
- 誘導員に対する教育及び誘導業務が不十分であった

災害事例

1. 事故の内容

換気口構築用の足場組立が完了し、直近(50cm離れ)にある換気口開口部(5m×1.5m)に、転落防止用の手摺設置を行う準備をしていたところ、水止め目的で設置してあったブロック(高さ15cm)につまずき、3.0m下の換気室に転落した。

2. 事故発生後の応急措置

事故発生後、被災箇所から作業員が被災者を地上まで搬出し、通勤用の乗用車で病院に搬送した。

3. 原因

安全帯を使用していなかったのと、作業手順の誤り。

1. 安全教育について(今月の安全目標) [建築部次長 木内]

事故や災害の発生原因について、人的要因として不安全行動、物理的要因として不安全状態、管理的要因として安全管理上の不備となっています。その中の不安全行動というのは「うっかりしているとき」「ぼんやりしているとき」「自惚れているとき」「焦っているとき」「横着しているとき」...このようなときに起きます。また、要素としては「先入観」「習慣」「思い込み」「錯覚」等によって不安全行動を起こします。以上のことを日々のKY等により注意を促すことにより、災害防止に努めてください。

2. 安全パトロールと反省について [土木部部长 阿部]

新治交番新築工事...現場内の整理整頓

3. 災害調査と統計について [土木部長 関]

無災害記録は1136日、7952時間となっています。今月は年度末ということで、完成を迎える現場では追い込みの時期ですが、災害が発生しやすい時期でもあります。現場におきましては細心の注意を心掛け、無事故で完成できるようにお願いします。

4. 衛生管理について [常務 林]

今の時期は寒い日と暖かい日が訪れ、体調を崩しやすい時期です。衣服等で調整し健康管理に努めてください。

5. 防火管理について [建築部長 瀬下]

だいぶ暖かくなってきましたが、まだ朝晩は冷え込み暖房器具を使用していると思いますが、離れるときは必ず消火の確認をお願いします。

6. 安全運転について [資材課 田村]

現場への往復に高速道路を使用するときは、油脂類の点検はもちろんですが、燃料の確認も同時にしていただき、燃料切れを起こさないように注意をしてください。



最高気温と最低気温 2006.2.16. ~ 2006.3.15.

2月	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
最高気温	4.0	2.5	2.5	5.5	3.0	5.0	8.0	7.0	4.0	9.5	3.5	4.0	4.5			
最低気温	0.5	-4.5	-6.0	-5.0	-3.0	-1.0	-1.0	2.0	1.5	-1.0	0.5	-3.0	-4.5			

3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
最高気温	2.5	6.0	3.5	7.0	9.0	10.0	7.0	8.0	9.5	7.0	13.5	10.0	1.5	1.5	12.0	
最低気温	-2.0	1.5	-4.5	-5.5	-4.5	-2.0	-1.5	-2.0	-1.0	2.0	-0.5	1.5	-4.0	-6.5	-4.5	

あなたと夢を、ごいっしょに。

PanaHome

人と地球へのやさしさを常に見つめながら、
未来につながる信頼の住まいを創り出しています。

信頼の住まいづくり

パナホームグループでは平成11年に「環境宣言」を発表。“「ひとの健康」と「地球との共生」を実現させる住まいづくり”をスローガンに、商品設計段階から資材調達、生産・物流、施工、そしてご入居使用後の廃棄、リサイクルに至るまで、住まいの全サイクルにおいて環境負荷の低減に取り組んでいます。また工場では、安定した品質での生産供給体制を確立するとともに省エネルギー化を推進。品質と環境管理の国際規格ISO認証も取得するなど、住まいづくりをトータルにレベルアップし、お客様のご満足につなげています。

「ひとの健康」と「地球との共生」を目指すパナホームグループの方向性

1. 環境配慮住宅の創造
2. 環境を配慮した事業活動の推進
3. 環境マネジメントシステムの導入による継続的改善活動の推進
4. 社会との調和と貢献の推進

森林資源の保護・活用に評価－「FSC森林認証」を取得

パナホームでは環境保護の観点から、世界的な規模で森林資源の保護に力を注いでいます。たとえばニュージーランドでは、他の種類の松に比べて極めて成長が早いラジアータパインに注目し、いち早く現地法人を設立。調和のとれた植林と伐採の資源サイクルを確立し、このほどNGO(非政府組織)の環境保護団体FSC(森林管理協議会、本部：メキシコ)から「FSC森林認証(CoC認証)」を取得しました。これは認証森林から伐採されたラジアータパインを独自の技術で加工した木質部材を対象とするもので、同認証の取得は国内住宅メーカーとしては初めてのこととなります。

すべての住まいがー環境共生住宅に認定

環境問題への関心の高まりを受け、(財)建築環境・省エネルギー機構により制定された環境共生住宅認定制度。パナホームでは、次世代省エネ基準への対応や高度なホルムアルデヒド対策など、積極的な取り組みにより、すべての戸建住宅で、この環境共生住宅の認定を取得しています。

環境への負荷を抑えるーリサイクル素材の活用

地球環境に配慮するパナホームでは、リサイクル素材や未活性材を有効活用するため、従来は廃棄処分になっていた着色ガラスを新素材オリジナルTEタイルに蘇らせたり、廃ガラスをリサイクルガラスタイルに再生するなど、積極的に再資源化に取り組んでいます。

環境保全への取組ー情報開示

パナホームグループの環境保全への取り組みは、年次ごとに報告書を作成。積極的に情報開示を行っています。

【パナホームテクニカルガイド】より

(パナホーム(株) 発行)

お問い合わせ・ご相談は

ナショナル住宅の家づくり夢工房

パナホームショップ北毛

<http://www.hokumou.panahome.co.jp/>

〒378-0042 群馬県沼田市西倉内町509-3

Tel 0278-22-1146 Fax 0278-60-2550